コロナ禍で開催されるドバイ国際博覧会と日本館

－10月開幕を見据え　新しい形の万博へのチャレンジ－

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）
ドバイ国際博覧会　日本館 館長
安藤　勇生

一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）展博委員会*1は、出展者の立場で出展効果の高い展示方法の策定を目指す、電機業界におけるユニークな会議体である。
本稿は、同委員会が加盟する展示会関連団体連絡会*2で、7月16日（金）にリモート開催した特別報告の概要を、スピーカーである筆者了解の下、JEMA企画部にて書き起こしたものである。

＜筆者略歴＞

2000年　3月	ドイツ・ハノーバー万博日本館勤務
2000年 11月	財団法人 2005年日本国際博覧会協会国際部途上国支援課長
2014年　2月	イタリア・ミラノ国際博覧会日本館 副館長
2017年　7月	ジェトロ展示事業部　ドバイ博覧会チーム・リーダー
2018年　4月	ジェトロ展示事業部　国際博覧会課課長
2021年　6月	ドバイ国際博覧会　日本館 館長

＊1　シャープ株式会社、株式会社 東芝、日本電気株式会社、富士電機株式会社、三菱電機株式会社にて構成（五十音順）
＊2　経済産業省、独立行政法人 日本貿易振興機構、一般社団法人 日本展示会協会、一般社団法人 日本イベント産業振興協会、JEMA 展博委員会にて構成（順不同）

1．はじめに

1．1　ドバイ国際博覧会の概要

ドバイ国際博覧会は、アラブ首長国連邦（UAE）建国50周年を記念して開催する、中東・アフリカ地域で初の登録博覧会*3である。また、2025年大阪・関西万博直前の登録博でもあり、今後、同万博への参加を招請する上で非常に重要なイベントであると考えている。

当博覧会は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を受け1年延期した。また、本年5月4日～5日には参加国会合をリアル開催し、10月からの開催に向けて鋭意準備を進めている段階である。

＊3　国際博覧会の区分の一つ。国際博覧会条約の規定に基づいて、5年ごとに開催される総合的なテーマを基にした大規模な博覧会。開催期間は6週間以上6カ月以内である。2025年には大阪･関西万博が決定している

（1）名称：2020年ドバイ国際博覧会
（2）会期：2021年10月1日～2022年3月31日（182日間）
（3）開催地：UAEドバイ
（4）テーマ：“Connecting Minds, Creating the Future”（心をつなぎ、未来を創る）
（5）サブテーマ：1）Mobility、2）Opportunity、3）Sustainability
（6）会場面積：438ha　過去最大級の規模（東京ディズニーリゾートの約4倍）
（7）出展者：192カ国が参加表明済み
（8）想定入場者：約2500万人（見込み）
（9）入場料
1日券は95ディルハム（約2850円）、30日マルチディパスが195ディルハム（約5850円）そして、会期を通して入場回数に制限がないシーズ

ンパスは 495 ディルハム（約 14850 円）である。入場無料の対象は 18 歳以下の学生、障がい者（その介助者は 5 割引き）、60 歳以上の老齢者。

（1 ディルハム＝ 30 円で換算）

（10）公式ウェブサイト：
https://www.expo2020dubai.com/

1．2　UAE におけるコロナの現状

新型コロナウイルス感染者は、6 月 29 日の 2184 人から少しずつ減少したものの、7 月 4 日から 11 日にかけて、1 日当たり 1500 人にのぼる感染者数を継続している。日本から当地に行く場合は、到着後の隔離義務こそないものの、出発から 72 時間以内の PCR 検査で陰性証明書が必要。今後における日本からのフライト状況は読みにくいが、9 月 2 日より羽田便が復活する旨側聞している（注：その後、11 月 2 日に延長）。

詳細は外務省のウェブサイトを参照願いたい。また、会場内には、迅速型 COVID-19 検査施設を設置するとのこと。

1．3　開催延期の経緯

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020 年 3 月に UAE 政府より会期変更の提案があった。その際、日本館の準備状況は、以下のとおりであった。

（1）建築は、夏までに竣工するために工事の真っ最中
（2）展示は、実施設計が 3 月に終了し、4 月から施工工事を開始する予定
映像等コンテンツも作成段階に入る一歩手前

そこで、工事を続けるのか中断するのかという問題が発生した。これに関する日本館の対応については、3．8（1）にて後述する。

同年 4 月 24 日、BIE（博覧会国際事務局）加盟国による投票が行われ、会期の変更に必要となる 3 分の 2 以上の同意が得られたため、会期の延期が確定した。しかし、名称は「2021」とはせず、「2020」のままで変更しないこととなった。

2．プレオープンした サスティナビリティーパビリオンにおける工夫

本年 1 月 22 日には非常にまれなこととして、一部のテーマ館を実験的にプレオープンした。ここでは「サスティナビリティーパビリオン」について触れる。オープンの目的は、主催者が人の流れやコロナ対策を確認するとともに、各参加国に対し開催する意思を明確に示すためであったと思われる。ちなみに、プレオープンの入場者数は 10 万人超、入場料は邦貨換算で 1 人当たり 700 円ほどであった。

2．1　新型コロナウイルス対策

マスクの着用、検温、消毒などについて、さまざまな工夫が施されていた。（**図 1**、**図 2**、**図 3**）

図 1　マスクの着用、ソーシャルディスタンス、手消毒を促す標識

図 2　入場前の検温エリア　※ 検温方法はサーモカメラ式

図 3　敷地内のいたるところに設置されている消毒スタンド（自動式）

2．2　展示上の工夫例

子ども向けのポップな展示を通して次世代へ伝えるために、人類や地球が直面する課題を視覚的に紹介している。非常におカネがかかった展示館のようであった。

2．3　まとめ

（1）ここでの展示は、全体を通して「子ども」「教育」を意識している印象であった。万博閉会後、子ども科学館として残される計画がすでに感じられるつくりとなっている。

（2）新型コロナウイルスの対策として手消毒スタンドが敷地内いたるところにあり、手持ちのサニタイザーがなくても、すぐに手指の消毒ができる環境であった。

　また、敷地内のフロアには、2 メートルのソーシャルディスタンスを促すステッカーが貼られており、スタッフが間隔を空けるよう呼び掛けることなく、混雑を感じない空間であった。

（3）入場前の検温から入館まで、十分な数のスタッフの対応もあり、スムーズな運営であった。

3．日本館の概要

3．1　テーマ

“Where Ideas Meet”（アイデアの出会い）

3．2　ジャパンデー

2021 年 12 月 11 日

3．3　特徴

大阪・関西万博の PR も実施

3．4　立地

周りには米国やイタリアなどの大型パビリオンが集中していることから、人出が多くなるものと予想され、なかなかの人気エリアである。（**図 4**）

図 4　会場マップ（イメージ）

3．5　ビジョン

日本は古くから出会いを大切にし、外から知恵や文化を吸収することで新しいものを生み出し、独自の価値へと昇華させてきた。

日本は未来に向け、地球的な視野で「アイデアの出会い」を生む結節点となり、それらを融合させることで、より良い世界へ向けたアクションを生み出していく。

3．6　出展により目指すもの

（1）中東をはじめとする国際社会における日本のプレゼンス向上
（2）産業の振興
（3）インバウンドの増加
（4）レガシーの継承と創出
（5）次世代を担う人材の活躍

3．7　建物（図 5）

（1）白を基調とした二階建ての本館
（2）アラベスクと日本の麻の葉文様を組み合わせたファサード・デザイン
（3）折り紙を表現した 3 次元の立体格子
（4）日本と中東の伝統的な環境システムを応用し、中東と日本の「アイデアの出会い」を表現している。
（5）レストラン（回転寿司店「スシロー」）を併設している。

3．8　コロナ禍の影響

（1）建物の維持管理

1 年間延期となったため、維持するための費用や手間がかかっている。費用対効果の観点で、建築工事は継続し、展示演出工事は延期という措置をとった。また、屋内部分は必要に応じて空調を効かして、劣化しないように工夫している。

（2）展示

詳細は 9 月に公表するも、概略は以下のとおり。

当初の予定を非接触形の展示に変更。音声 AR（拡張現実）という技術も採用している。ソーシャルディスタンスの関係で収容人員は 1 パケット当たり 36 人に減員し、展示演出間隔のピッチ変更

図 5　日本館外観（4 月完了検査済）

も余儀なくされた。また、渡航困難な状況下での対応として、ドバイ博全体の仕組みとは別に、独自の「バーチャル日本館」を構築することとなった（無料）。

（3）運営

感染対策として、主催者から各パビリオンに無料提供する「スマートキューイングシステム」という名の予約ツールにより、周囲に行列が発生しないよう工夫する。また、チケットの受け渡しをやめて機械化している。

アテンダントは、82 人を採用した。

（4）スタッフとワクチン接種

ワクチン接種は強制ではないが、主催者から強く推奨されている。ワクチン接種をしていない人に対しては、費用を自己負担することで、週一回の PCR 検査が義務付けられている。主催者からコロナガイドラインの公表を待っている段階である。

3．9　公式ウェブサイト

https://expo2020-dubai.go.jp/ja/

（日本語サイト）

4．おわりに（ドバイ万博での経験は、新しい形の万博へのチャレンジ）

かつて、万博の役割は「国威発揚」であり、また、人々に「夢」と「希望」を与えるとともに、周辺国に自国の自慢や、新商品・技術発表の場であった。

しかしながら今やそれだけではなく、地球規模の課題について解決案を提案する場でもある。さらには、新しい形の万博（リアルとバーチャルの併用）が求められている。

主催者は新型コロナウイルスガイドラインを近々公開し、徹底した安全・安心な博覧会を目指している。まさに「ドバイ万博での経験は、新しい形の万博へのチャレンジ」であるといえる。

編集担当より、読者の皆さまへメッセージ

展博委員会に参加を希望する会員会社様は、JEMA 企画部広報室にご連絡願います。

この委員会は、展示会に出展する会員会社の共通利益促進を通じて、電機業界のさらなる発展を目指しています。

今回ご紹介したような、特別報告をはじめとする展示会などに関するさまざまな活動については、JEMA 展博委員会に参加することで、より詳しい情報を入手することができます。

各社様の積極的なアプローチを心から期待しております。

問い合わせ先

JEMA ウェブサイト（お問い合せフォーム「その他のお問い合せ・サイトへのご意見等」）

https://www.jema-net.or.jp/cgi-bin/contact/input.cgi

電話　03-3556-5882（JEMA 企画部広報室）